

競技上の注意事項

1. 本大会は平成 22 年度（財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程および公認審判員規程、により行います。
2. 試合の進行（オーダー順）は以下の通りです。
女子シングルス 1→男子シングルス→女子ダブルス→男子ダブルス→女子シングルス 2
なお、予選リーグの対戦は勝敗に関わらずすべての試合を行います
3. 予選リーグはブロック戦とし、各ブロック 1 位のチームが決勝トーナメント戦に進出します。予選リーグにおける順位の設定は以下の方法で行います。
 - (1) 勝敗による
 - (2) マッチ率による
 - (3) 上記 (1) (2) が同率の場合、得ゲーム率
 - (4) 上記 (1) ~ (3) が同率の場合、得ポイント率
 - (5) 上記 (1) ~ (4) が同率の場合、直接対決の勝利チーム※棄権の場合、記録は残しますが、上記(2)、(3)、(4)の計算においては 21 対 0、21 対 0 の 2 対 0 で敗戦したものと扱います。
4. 決勝トーナメントは 3 マッチ先取で打ち切りとします。
5. 試合時間の 30 分前にオーダー用紙提出のコールをします。特に指示のない限り、その後 10 分以内にご提出ください。提出が遅れた場合、「棄権」とみなす場合もありますのでご注意ください。
6. 選手および監督・コーチは、試合時間 30 分前には競技場で待機し、試合のコール（場内放送）の後、直ちにチームでまとまって指定コートに集合してください。コール後 10 分を経過しても集合が確認できない場合は「棄権」とみなしますのでご注意ください。
7. タイムテーブルにはコート別に試合順が示されていますが、あくまで目安であり、試合の進行は流し込み方式で行います。試合開始時刻や使用コートを変更することもありますので、場内放送には十分ご注意ください。
8. 各コートバックバウンダリーライン後方にベンチとコーチ席 2 席を設置します。コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。ベンチ・コーチ席に入ることが認められるのは、登録した監督・コーチ・選手のみとします。なお、試合前後の整列・挨拶は、若番チームが主審の右側エンドとします。
9. 試合前の公式練習では、当該試合の若番チームが若番コートを使用し、両チームが同時に 3 分間行います。
10. 試合中の怪我等については主審の指示に従ってください。
11. シャトルやラケットの交換、靴ひもの締め直し等でプレーを中断する場合には、必ず主審の許可を得てください。また、汗を拭くためにコートを離れるときや水分補給も同様に主審の許可を得てください。飲み物は必ず栓ができる容器を使用し、フロアに水滴がこぼれないように配慮をお願いします。なお、選手の状況等によっては主審が認めない場合もあります。
12. マッチ（試合）中のコート又はコート周辺でのプレーヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第 16 条第 6 項（4）の違反とみなします。
13. 競技規則第 16 条第 7 項の規定により、以下のような行為は警告、フォルトまたは失格となりますので注意してください。
 - (1) プレーを故意に遅らせたり中断したりすること。
 - (2) 故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
 - (3) 見苦しい服装でのプレー、審判員や観客に対する横柄な態度など、下品で無礼な態度や言動。
 - (4) コート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や呼び声を発するなど、競技規則を越えた不品行または不快な行動。
14. 審判員の判定に対して疑問のある場合には、当該選手と監督に限り主審に質問することを認めます。ただし、抗議や異議は認めません。
15. 選手は、試合中上衣の背面中央に必ず都道府県名を明示し、上衣の裾は下衣に入れてください。
16. 試合が終わったら、選手は主審・サービスジャッジと握手を励行してください。
17. 上記の他、監督会議において連絡した内容に従ってください。